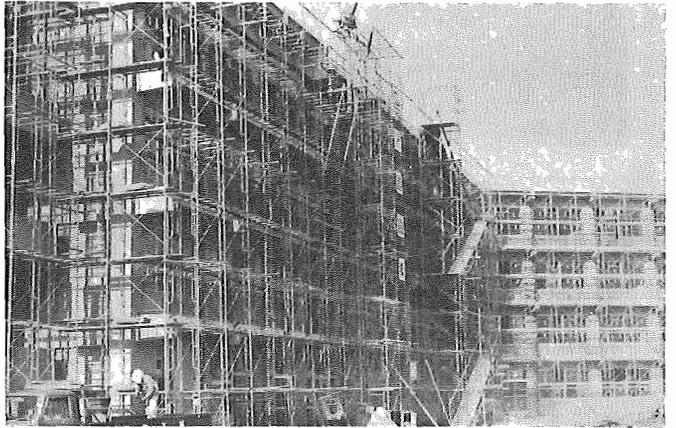
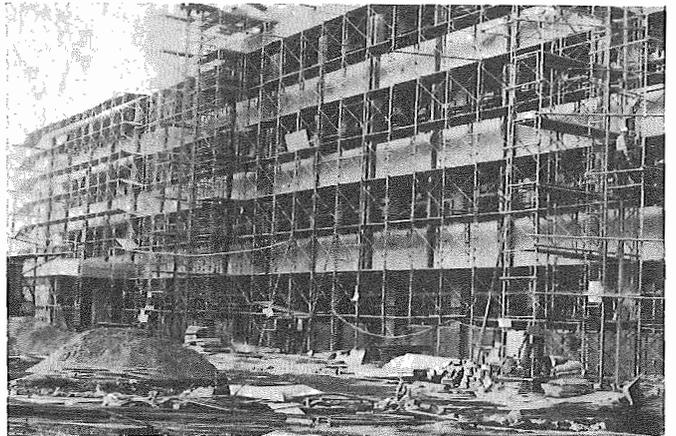


(昭和34年7月31日第3種郵便物認可)

我孫子市役所  
市長公室企画課



▲久寺家中学校 3月15日完成予定



▲根戸小学校 3月15日完成予定

# 久寺家中・根戸小 4月開校へ

## 第4回市議会定例会終る

昨年、11月16日に行なわれた市議会議員選挙で選ばれた私たちの代表者による第4回市議会定例会が、先月開会されました。人口の急激な増加に伴う学校不足を解決するため、市西部に建設中の中学校と小学校の名称が正式に決定された他、補正予算、条例改正など19の議案が可決または修正可決されました。

第4回市議会定例会は、昭和50年12月10日から12月23日まで14日間行われ、初日に、正副議長の選挙が行われ、議長に佐々木忠博氏(無所属)、副議長に松本竹雄氏(公明党)が選ばれました。補正予算は一般会計、特別会計、上水道事業会計の各予算の補正が行われ、一般会計は歳入・歳出それぞれ9億6254万2千円を追加総額71億2025万5千円となりました。しかし特別会計は1億2455万3千円の減額になっています。これは土地区画整理事業

の補正予算が大幅に減額となったことが影響しているためです。上水道の補正予算は1億2567万6千円の増加になっています。議会ではこの他、これまで仮称であった久寺家中学校・根戸小学校の名称が承認されました。久寺家中学校と根戸小学校の位置・学区については広報の昭和50年12月1日号に「仮称我孫子第2中学校・仮称我孫子第5小学校」として掲載されていますのでご覧下さい。この2校の新設校の他に3つの学校についても増設案または移転が完了することになります。

▼久寺家中学校  
総工費 3億1500万

▼根戸小学校  
総工費 3億8300万

鉄筋コンクリート4階  
延床面積 約30300㎡  
普通教室 9室  
特別教室 7室  
今春入学生定数 309名

▼湖北中学校(改築工事)  
総工費 4億1000万

鉄筋コンクリート4階  
延床面積 約3676㎡

▼増設校  
鉄筋コンクリート4階  
延床面積 約3676㎡

▼湖北中学校(増築工事)  
総工費 1億2690万

鉄筋コンクリート3階  
増築分延床面積 約1409㎡

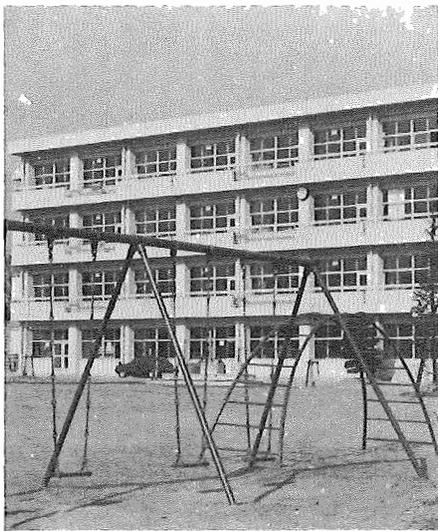
普通教室 9室  
特別教室 1室

▼第3小学校  
総工費 2億7445万

鉄筋コンクリート4階  
延床面積 2666㎡

普通教室 12室  
特別教室 3室

防衛庁防音改築併行工事による第3小学校の移転も無事完了し、新しい校舎ですてに生徒たちが勉強に励んでいます。



▲第3小学校



副議長に  
松本竹雄氏



議長に  
佐久間忠博氏

### 退職

木川肇助氏は、去る12月31日その任期を満了して退職されました。木川氏は、昭和25年11月20日に我孫子町役場に入り、



昭和26年の税務課長をふり

だしに総務課長、合併後も選挙管理委員会書記長、総務課長等を歴任、昭和41年収入役、昭和47年1月に助役に就任しました。この間、実に26年の長きにわたり我孫子市発展のために尽くされました。長い間ご苦労さまでした。

あびこのあゆみ

あびこのあゆみ

古墳時代

古墳時代

我孫子の夜明けを告げる縄文・弥生時代には、祖先の足跡を知るべき貝塚や土器類は少ない。

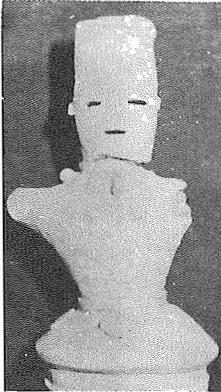
山古墳群(6世紀中期) 日立橋機内古墳(7世紀初期から末) 第4小学校古墳(7世紀中期) 白山古墳群(7世紀前)から末に別かれます。

奈良・平安時代

奈良・平安時代

千葉県の北部と茨城県の一部が下総国大化改新の時から、我孫子は、相馬郡の中相馬に相当してい

ました。 当時、我孫子と言う地名はなく、中相馬の於賦といふ交通の要衝が、我孫子にあたるという説が有力です。



久寺家から出土の埴輪



桐門神社

これは、承平・天慶の乱の前後の社会変革によるものとされています。この乱を起した平将門は、藤原氏による腐敗した律令政治に反抗して起った英雄で、その絶大な人気から、数多くの口碑伝説が各地に残り、我孫子市にも日秀親音堂(本尊の親世音菩薩は、平将門の守本尊と伝えられています)・将門の井戸・将門神社(ともに日秀にある)などが残っています。

鎌倉・室町時代

鎌倉・室町時代

平安末期には、現在の我孫子市を含む、中相馬・北相馬は、相馬御厨(そうまみくりや)と呼ばれ、この御厨を私領とするために、国司、豪族、有力武士などが争いを繰り返していた。



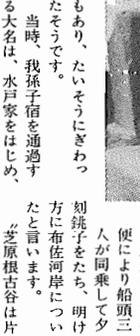
芝原城跡

領土の拡大に明けくれていたが、ついに鎌倉に幕府を開いた源頼朝と結んだ平常胤が勝利をにぎり、その二男師常が、御厨を継承して相馬氏の祖となりました。南北朝には、相馬一族は分裂して領土は不安定となり、室町時代になると御厨内の豪族は、応仁の乱から下克上の風潮のついで勢力をのばし、要害の地を築

江戸時代

江戸時代

江戸時代に入り、三代将軍家光の時、参勤交代が制度化されて、江戸に通じる街道が整備され、宿駅が定められました。



江戸時代の面影を伝える道標

もあり、たいそうにぎわったそうです。 当時、我孫子宿を通過する大名は、水戸家をはじめ、常陸、奥羽地方の諸大名二十一家におよび、常備の人馬ではたらず、助郷とよばれる近郊農民の使役を必要とした。 一方、銚子から江戸への

江戸時代

鎌倉・室町時代

我孫子(あびこ) 我孫子は、吾彦・我孫阿比古・阿比古・綱引とも書き、わが国古代の氏族です。 この姓を持つ氏族は、摂津・河内・和泉・美濃・越前など主として畿内とその周辺に限られ、東国では我孫子市だけである。これは、古墳時代に我孫子市のアビコと称する畿内内の豪族が移り住み、カバネを地名に残したと考えられます。 また俗説に、日本武尊が、東征の帰りに、手賀沼の岸に立ち、父子3人漁夫に舟を出させ「あちこく」と行く先を命じたが、のちに、「あちこ」「あびこ」と転訛したと

あの町この町 地名の由来

別説に、あびこは綱引とも記され、綱を引くのが古語で、漁業を業とする漁村をさした名だとも言われています。 「古語拾遺」の記事に、「天宮令、更に沃壤を求めんとして阿波彦部を分ち、率ひて、東土に征さし、麻殺を播種せしめたこと、好き麻の生ひたる所、故に、都部(いちぶ) 湖北の正泉寺縁起によると、「一部の縁起、手賀沼の清泉から出現した」と、この由来から、「」は、

《我孫子市年表》

- 明治5 我孫子郵便取扱所開始
6 印旛県を廃し、千葉県とし、県庁を千葉町におく
17 我孫子外6ヵ村(青山、柴崎、下ヶ戸、岡発戸、都部、高野山)戸長役場を開設
22 我孫子町誕生、役場を開設。
26 延寿院内に我孫子高等小学校開設。
29 常磐線(田端-土浦)開通。
30 成田線開通。
大正4 志賀直哉、我孫子に転居。
5 武者小路実篤、我孫子に転居。
13 杉村楚人冠、我孫子に転居
昭和3 我孫子一木下間、我孫子一布施弁天間、バス開通。
5 我孫子郵便局電話交換業務開始(加入者53)
29 富勢村の一部我孫子町に合併。
30 我孫子町、布施町、湖北村合併、我孫子町となる。
37 我孫子中学校火災。
41 中央公民館設立。
43 町役場新庁舎に移転。
45 市制施行。湖北台団地できる。
46 常磐線が複々線化。天王台駅できる。
48 クリーンセンター完成。成田線電化完成。
49 老人福祉センター「つつし荘」完成。



